

島おこし協力隊ミッション

ミニコラム 34

「上島町島おこし協力隊活動報告会」



▲鳥獣対策ジビエ振興(左)・サイクリング振興(右)の発表

皆さん、こんにちは。ゆめしま未来塾講師の確水です。2月13日(金)に開催されました「令和7年度 上島町島おこし協力隊 活動報告会」についてお伝えいたします。上島町で協力隊制度が始まって15年。これまで46名の隊員が島おこしに携わってきました。現在は7つのミッションで15名の隊員が活動しており、報告会当日は約50名の町民の皆さまに活動の成果を発表しました。

・**鳥島離島留学(ハウスマスター)**
地域の特性を活かした企画を実施。子ども神輿などの伝統行事復活に留学生が大きく貢献

・**ゆめしま寮(ハウスマスター)**
全国から集まる寮生にとって安心安全な生活環境を整えるとともに、生活習慣の改善やメンタルケアを行っています。加えて、地域の方と連携した「魚さばき体験」などを通じて、島への愛着と自立心を育んでいます。

・**ゆめしま未来塾**
全校生徒の約6割が通塾。英検や簿記などの資格取得支援に加え、社会で役立つ力を養う「キャリア教育」を推進しています。小中学校への出張講座も行い、町内全体の学力向上を支えています。

・**高校魅力化コーディネーター**
弓削高校の存続と発展を目指し、町内生及び県外からの志願者確保に注力。今年度は過去10年で最多となる34名の入学者を記録しました。現在は、生徒が「卒業後も上島町に関わりたい」と思える将来計画を策定中です。



ゆめしま未来塾 確水 涼太

【活動報告の概要】

・**鳥獣被害対策・ジビエ振興**
農作物を守るための捕獲に加え、捕獲したイノシシを「ゆめしまジビエ」としてブランド化。銀座の高級レストランへの供給や、最新の在庫管理アプリ導入により、マイナスをプラスに変える地産外販の仕組みを構築しています。

アンケートでは「熱心な活動がよく分かった」という励ましをいただいた一方で、「課題や改善点も共有してほしい」という貴重なご意見もいただきました。私たちはこれからも、上島町の課題解決と笑顔あふれる未来のために邁進してまいります。今後とも島おこし協力隊への温かい応援をよろしくお願いいたします。

・**サイクリング振興**
町民とサイクリストが交流する「チャリと旅。〜かみじままるごと体感フェス〜」を成功させました。今後は、大阪のシマノ自転車博物館でのPRや、任期終了後を見据えたゲストハウス・自転車修理販売の準備など、新たな観光の形を提案します。

・**移住定住促進・空き家バンク**
21件の空き家成約を実現。新設された「移住お試し住宅」の運営や、空き家の所有者様への丁寧な相談対応を通じて、移住者の増加や空き家の削減に取り組んでいます。

献し、子どもたちの存在が地域に活気と笑顔の循環を生んでいます。

高校魅力化コーディネーター

「島一周耐久レースが5年ぶりに復活」



▲弓削島を力走する弓削高生

弓削高校では2月6日、5年ぶりに弓削島を一周する「耐久レース」が復活し、生徒たちの勇姿に町民の方々が沿道からエールを送っていただきました。

耐久レースは弓削高校の名物企

画として以前は毎年行われていましたが、2021年以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったり、規模を縮小して開催したりしていました。当日は約19kmのコースを1、2年生など50名以上が力走し、私はスタートから14km地点の給水所係として応援しておりました。「14kmもあるから、中々来ないだろう」と、油断しているとトップランナーが来てしまい、慌ててスポーツドリンクをコップに入れ、ごちない笑顔で「頑張っ」と送り出しました。後ほど、体育の

先生から「めちゃくちゃ慌てていましたね、ちゃんと働いてください(笑)」と言われ、恥ずかしい限りです。

トップの生徒は1時間30分ほどで完走し、走ることが苦手な生徒も全員完走しました。弓削高校の伝統行事が今後も続いていくことを期待しています。



高校魅力化コーディネーター 河村 俊秀

公営塾

春、新しい一歩を踏み出す季節に



上島町の皆さま、こんにちは。ゆめしま未来塾講師の辻村です。令和8年度が始まり、弓削高校でも新学年と新しい学びが本格的にスタートしました。この春、英検準1級に挑戦する塾生をサポートするうちに、私自身も新しいことに挑戦したいという思いが強くなりました。春は「これから頑張ろう」という気持ちを形にしやすい時期です。生徒たちも新しい環境の中で前向きに学び始めています。ゆめしま未来塾では、小さな成功体験を積み重ねて自信につなげることを大切にしながら指導しています。これからも学校の学びと連動したサポートを続け、

一人ひとりの挑戦をしっかりと後押ししてまいります。写真ではかみじまも塾生の頑張りを見守ってくれていますね。



ゆめしま未来塾 辻村 大樹

移住定住・空き家バンク

令和7年度移住フェアにおける相談者数について

島おこし協力隊 移住定住・空き家バンクミッションの中野です。

2月21日(土)に東京で開催された移住フェアをもって、上島町が出展する令和7年度の移住フェアの全日程が終了いたしました。

今年度も東京・大阪で開催される移住フェアに出展し、相談者数は計97組149名となり、前年度の70組93名を上回る数字となりました。

愛媛県が主催する移住フェアには、大規模フェアと小規模フェアの2種類があります。大規模フェアは愛媛県内全20市町と関連団体で計30余りの出展があり、移住についてまだ漠然とした状態の方が比較的多く参加されます。一方、小規模フェアは5~10市町と関連団体の出展があり、完全予約制で開催され、移住検討先の市町が出展していれば詳しい話を聞くために参加

するという方が多い印象です。それぞれのフェアに違った役割があり、相談内容もさまざまである為、今後も個々に合った相談対応を行っていきます。



移住定住・空き家バンク 中野 雄大